

平成29年5月30日

高松市長 大西秀人様

高松市香南地区地域審議会
会長 赤松千壽



建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する
意見の取りまとめについて（回答）

新緑の候 貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申しあげ
ます。

日頃は、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り
厚く御礼申しあげます。

さて、平成29年4月10日付け高地振第1106号により依頼のありました、建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見の取りまとめについて、下記のとおり意見集約を図りましたので回答いたします。

記

1 提出書類

建設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意
見について

建設設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
1	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	<p>市道下川原北線の香東川橋梁がほぼ完成しましたが、橋梁部分の供用開始が平成30年度以降になると聞いており、当初の計画から遅れが生じていると感じておりますが、供用開始までの整備スケジュールを示して欲しい。</p> <p>また、県道三木綾川バイパスルート（仮称）整備については、近々に県道円座香南線に接続しなければ、その効果は極めて少ないばかりか、橋梁西側付近の狭隘な既存の市道においては、交通量が急激に増加し、交通事故に繋がる恐れがあります。また、現在でも、渋滞が起っている県道三木綾川線の城渡橋付近では、更なる渋滞を生む事態となります。このような事態を回避するためにも、橋梁の供用開始時に併せて、少なくとも、東は空港通りと西は県道円座香南線とを接続するよう、事業主体となる香川県に対して特段の働き掛けをしていただくことを切に要望します。</p>
2	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備	<p>地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備については、平成29年度内に暫定路線ルートが開通し、県道三木綾川線と接続すると聞いておりますが、暫定路線に接続する市道においては、通行量や通行車両等の状況が大きく変化することが予想されるため、危険個所が発生しないよう対策を講じるよう要望します。</p> <p>特に、市道香川綾南線・南原保育所線は、交通事情の著しい変化が予想されるため、香川県や香川県警察本部と連絡を密にして、歩道、信号機等の交通安全施設を充実されることを要望します。</p> <p>なお、地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）は、県道三木綾川線と立体交差する計画が示されています。この付近には、『道の駅香南楽湯』や『社会福祉協議会香南支所』など、香南町の重要な施設が設置されておりますことから、地域高規格道路の整備が、香南地域のまちづくりにつながる事業となるよう、事業主体となる香川県に対して、更なる働き掛けをしていただくことを切に要望します。</p>
3	市道等の整備	<p>市道等の整備については、建設設計画登載路線のうち地元関係者の同意が得られた路線について、順次、整備を進めていただきたいと順調な進捗が図られておりますが、未整備路線についても、早急に実施されるよう要望します。</p> <p>特に、市道下川原北線の香東川橋梁と接続する城渡吉光線については、橋梁の供用が開始された後、通行量が大幅に増加することが予想されるため早急な整備を引き続き要望するとともに、当該道路に接続する狭隘な市道や交差点については、前述のとおり、今後の通行量の増加により各所で交通渋滞や事故の発生が想定されるため、市道の拡幅や交通安全施設の充実など、快適で安全な道路空間の確保に向けた対策を講じるよう要望します。</p> <p>また、前述のとおり、地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）は、県道三木綾川線と立体交差する計画が示されており、交差点付近には、『道の駅香南楽湯』や『社会福祉協議会香南支所』など、香南町の重要な施設が設置されておりますことから、地域高規格道路と接続する市道尾池丸田線と吉光高根線については、香南町のまちづくりにつながるよう主体的に道路整備を行うよう要望します。</p>

建設設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
4	香南小学校大規模改修工事の着工	<p>香南小学校の老朽化による大規模改修については、緊急性、安全性、危険性を考慮して、香南小学校も含めた市内の小・中学校の中長期的な改築・改修の整備計画を、平成29年度を目途に策定するとお聞きしておりますが、大規模災害時の避難所として使用される可能性の有る建物であることから、有利な合併特例債等を活用できる建設計画延長期間内に、一刻も早く事業に着手し、完了させることを切に要望します。</p>
5	防災行政無線を利用した一般広報の継続運用	<p>防災ラジオについては、防災行政無線に代わる重要な情報収集手段であります、自治会未加入者や何らかの理由で申込ができなかつた市民から、防災ラジオ購入の問い合わせも多々あることから、これからも順次募集を継続していただくとともに、一部地域で発生している電波障害等の改善を要望します。</p> <p>また、現在、防災ラジオを利用して、地域のイベントを中心とした地域情報を放送していただいているが、更に地域に密着した情報を住民へ伝達するため、従来の防災行政無線と同様、朝、昼、晩の1日3回の定時放送を含めた、地域コミュニティ協議会による放送設備の運用を要望します。</p>
6	南部スポーツ施設における特色あるスポーツ施設の整備	<p>現在、施設名称も決定し平成30年4月の運用開始に向けて、事業を進めていただいているところですが、管理棟及び夜間照明の整備につきましては、完成後の利用状況や地元、利用者の意見を聞いた上で、検討すると言われています。</p> <p>今後の施設の有効活用のためにも、夜間の利用を想定した照明設備の整備や利用形態の確立（時間・料金の設定等）を引き続き要望します。</p> <p>また、平日の昼間に利用できる人は、時間に余裕のある人（シニア世代など）になりますことから、利用者の健康増進が図られるよう、「高齢者向け健康遊具（器具）」、「介護予防遊具」など、幅広い世代が楽しめるの設置を要望します。</p>
7	地域行政組織の再編	<p>現在、香南支所については、従来からの窓口サービスを継続する激減緩和措置が講ぜられ、懸念していた市民サービスの低下は免れています。</p> <p>激減緩和措置については、今後、予定されている地区センター（仮称）への移行において、香南支所の利用者が周辺地域にも拡大していく地域特性等も考慮し、客観的にみて地域の誰もが激変緩和措置の終了もやむを得ないと思えるような状態に至るまで、適切な対策を講じられるよう強く要望します。</p>

建設設計画に係る平成30年度から平成32年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
8	公共交通機能の維持・確保	<p>高松市では、人口減少、少子高齢社会に対応するため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方の下、持続可能なまちづくりを進める高松市立地適正化計画の策定を計画されているとお聞きしております。</p> <p>この計画では、香南支所を中心とした地域も都市機能や居住を誘導する地域の拠点と定められるとともに、高松市公共交通網形成計画に基づき、市内各地に設定される拠点間と中心市街地を効率的に結ぶためのネットワークの強化が検討されているとお聞きしております。</p> <p>現在、香南町では、コトデンバスが運行する路線バス由佐線と香川町シャトルバスが、通勤、通学や高齢者の重要な移動手段として、公共交通機能の中心的役割を担っておりますが、利用率の低下などの課題もでてきてています。このようなことから、今後は、公共交通機能の維持・確保に向けた利用率の向上のため、周知・啓発など地域独自の取り組み等も検討を進めたいと存じますので、住民が利用しやすく拠点性の高まる交通ネットワークが構築できるよう指導・助言を含む必要な対策を講じるよう要望します。</p>
9	香南地域保健活動センター（旧香南保健センター）の利活用について	<p>旧香南保健センターの施設については、本年1月末で「香南地域保健活動センター」に名称が変更になり、3月末で常駐職員も引き上げて、4月からは高松市社会福祉協議会香南支所に施設の管理を委託されていると聞いております。</p> <p>この施設の今後の利活用策については、地元の有志の方から高齢者の居場所づくりの事業や子ども食堂の事業の施設として利用したいとの強い要望が有り、さらに将来的には市が推し進めている介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスBの施設や、この事業を実施する団体の事務所として有効活用し、施設の管理も併せて地元の団体による指定管理を受けたい構想を持っておりますが、保健センターのお考えを示して欲しい。</p>